

## 令和4年第10回筑西市教育委員会定例会会議録

|          |  |
|----------|--|
| 招集日時     | 令和4年10月27日(木) 午前10時00分 (開会:午前10時00分 ~ 閉会:午前10時50分)   |
| 場 所      | 筑西市丙360番地 本庁舎3階 筑西市教育委員会302会議室   |
| 出席者      | 教育長:小室高志、教育長職務代理者:吉澤貴美子、教育委員:塚本真実、教育委員:草間武、教育委員:山口雅敏   |
| 欠席委員     | なし   |
| 傍聴者      | なし   |
| 委員以外の出席者 | 部長:鈴木敦史、次長:島村信之、次長:入山克巳、学務課長:根本薫、指導課長:池田いずみ、生涯学習課長:寺内智恵子、文化スポーツ課長:成田佳輝、美術館副館長補佐:堀江隆之<br>学務課学校総務グループ課長補佐:木村拓夫、学務課学校総務グループ主任:相野谷直子   |
| 議 案      | 報告第18号 筑西市社会教育委員の委嘱について<br>議案第37号 筑西市青少年センター運営協議会委員の委嘱について<br>議案第38号 令和5年筑西市二十歳の集い新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインについて<br>議案第39号 体育施設指定管理候補者選定結果について<br>議案第40号 「わたせせいぞうの世界展 ハートカクテル40周年記念」の入館料について   |
| 議事の概要    | 小室教育長: みなさん、こんにちは。ただ今より、令和4年第10回筑西市教育委員会定例会を開会します。<br>それでは、2. 議事に入ります。報告第18号筑西市社会教育委員の委嘱について、説明をお願いします。<br>生涯学習課長: 【資料により説明】<br>小室教育長: ただいま、報告第18号についてご説明いただきましたが、ご質問等がございましたらお願いします。<br>よろしいでしょうか。続きまして、議案第37号筑西市青少年センター運営協議会委員の委嘱について、説明をお願いします。 |

生涯学習課長： 【資料により説明】

小室教育長： ただいま、議案第 37 号についてご説明いただきましたが、ご質問等がございましたらお願いします。  
よろしいでしょうか。それでは、議案第 37 号について、賛成の方は挙手をお願いいたします。

各 委 員： 【挙手全員】

小室教育長： 挙手全員であります。よって、議案第 37 号について、原案どおり可決いたします。  
続きまして、議案第 38 号令和 5 年筑西市二十歳の集い新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインについて、説明をお願いします。

生涯学習課長： 【資料により説明】

小室教育長： ただいま、議案第 38 号についてご説明いただきましたが、ご質問等がございましたらお願いします。  
よろしいでしょうか。それでは、議案第 38 号について、賛成の方は挙手をお願いいたします。

各 委 員： 【挙手全員】

小室教育長： 挙手全員であります。よって、議案第 38 号について、原案どおり可決いたします。  
続きまして、議案第 39 号体育施設指定管理候補者選定結果について、説明をお願いします。

文化スポーツ課長： 【資料により説明】

小室教育長： ただいま、議案第 39 号についてご説明いただきましたが、ご質問等がございましたらお願いします。  
よろしいでしょうか。それでは、議案第 39 号について、賛成の方は挙手をお願いいたします。

各 委 員： 【挙手全員】

小室教育長： 挙手全員であります。よって、議案第 39 号について、原案どおり可決いたします。  
続きまして、議案第 40 号「わたせせいぞうの世界展 ハートカクテル 40 周年記念」の入館料について、説明をお願いします。

美術館副館長補佐： 【資料により説明】

小室教育長： ただいま、議案第 40 号についてご説明いただきましたが、ご質問等がございましたらお願いします。  
よろしいでしょうか。それでは、議案第 40 号について、賛成の方は挙手をお願いいたします。

協 議

そ の 他

各 委 員： 【挙手全員】

小 室 教 育 長： 挙手全員であります。よって、議案第 40 号について、原案どおり可決いたします。  
続きまして、3. 協議に入ります。(1) 次回教育委員会定例会について、説明をお願いします。

学 務 課 長： (1) 次回教育委員会定例会につきましては、11 月 17 日 (木) 午前 10 時から開催いたします。

小 室 教 育 長： ありがとうございます。続きまして、4. その他に入ります。  
(1) 令和 4 年度 11 月定例学校運営研修会について、説明いたします。

【資料により説明】

何かご意見がございましたら、お願いします。

塚 本 委 員： 日が暮れる時間が早くなり、ちょうど下校の時間が薄暗く危険なので、不審者だけでなく交通事故についても十分気を付けるよう児童生徒に指導をしていただきたいです。

また、新学期は自転車指導などがあって子どもたちも気を付けていたと思いますが、2 学期も中盤になり、交通マナーが守れていない様子も見られるので、自転車の乗り方なども改めて指導していただきたいです。

小 室 教 育 長： わかりました。自転車の乗り方についても指導するよう伝えます。ありがとうございました。  
他にはいかがでしょうか。

吉 澤 委 員： 通知表について質問があるのですが、今年度から、3 学期制は維持しながら通知表は前期と後期の 2 回になりましたが、通知表の形式などは市内統一ですか。

小 室 教 育 長： 市内で統一です。

吉 澤 委 員： 今回学校からもらってきた通知表を見ると、パソコンから打ち出された評定や行動の記録などはありましたが、担任からのコメントが全くありませんでした。道徳や情報などの数値では評価できない特別な教科についても、言葉での評価が全くありませんでした。ある小学校に用事があった際、通知表にコメント欄がなくなったことについて聞いてみると、「年度末に指導要録と連動させて書きます」という説明でした。指導要録は 1 年間の指導を記録する公的な書類ですが、通知表は成長の記録なので年度の間にもコメントや所見がないといけないと思います。

また、校長、担任、保護者が押印する欄もなくなりました。毎日の連絡帳には保護者が毎日押印しているのに、半年に 1 度の通知表になぜ押印が不要なのか、学校に聞いてみましたが答えはありませんでした。

通知表に先生の気持ちや心が感じられないという保護者の声も聞きました。また、「1年終わってから「こうだった」と言われても困る。後半の半年をどう頑張ろうか、と思えない通知表だった」と話す保護者もいました。コロナ禍で保護者は学校に行く機会がなくなってしまい学校での様子がわからないなか、通知表にはパソコンから打ち出された文字だけで、係でなにをやったとか、委員会でどのように活動したとか、子どもたちの学校生活の様子が感じられません。保護者と学校の信頼関係を学校が手放したという印象を持ってしまいました。

何のためにこのような形式にしたのか、もっと先生の愛を感じられる通知表にするには先生の時間が足りないのか、子どもとの関係が希薄で前期だけでは書くことがないのか、その辺が疑問に思いました。

塚本委員： 何年か前に通知表が活字だけになったときに、担任の先生が子どもについて手書きで書いてくれたものがなくなってしまい、「先生の愛を感じられない。良いことも悪いことも手書きで書いてもらった方が、見てもらっていると実感する」という話を教育委員会定例会でしたことがあります。

吉澤委員： 今回の通知表の簡略化の、学校としての狙いはなんだったのか。保護者への通知表の説明文書は去年と同じで「これを見て子どもを励まし、いいところを認めて…」と書いてありましたが、通知表を見ても子どもの姿が見えてこないの、家庭で子どもをどう励まして「10月以降こういうことを頑張ろう」という会話も出てこないと感じました。もう少し温かみがほしいし、どう頑張ったらよいか保護者に伝わるようにした方がよかったのではないかと思います。

草間委員： 保護者が子どもに何を指導したらいいかわからないということですね。

吉澤委員： 何を指導したらいいかわからないし、子どもの良いところも悪いところも伝わりません。

塚本委員： 保護者としては、評価だけでなく先生のコメントをよく見て、子どもに声掛けをしますよね。

吉澤委員： 学校としては、この通知表で何を伝えたいのか。コメントは年に1回、最後に書くと決めたのならば、その狙いはなんなのか。前期が終わった時に後期に繋がる意欲を出させない通知表となってしまったのはなぜなのか、疑問に思いました。

小室教育長： このようになった経緯を説明しますと、昨今の頃、校長会から通知表の在り方について検討した結果が提出されました。コメント欄については、毎回同じような内容になってしまうため、1年の最後にまとめて書く代わりに面談で保護者に学校の様子を伝えるということで、年に1回にしたいという話がありました。押

印については、公定帳簿も押印省略とはなりましたが、通知表は帳簿ではないので、働き方改革とは別に考えなくてはいけないかもしれません。

これらの変更の1番の狙いは働き方改革です。通知表が年2回というのは、筑西市だけではなく、県西管内は恐らくどこもそうになっており、他市の保護者からも吉澤委員が仰ったのと同じ意見を聞いています。私も学校の様子はきちんと書くべきだと思いますし、合理的になりすぎているのではないかと感じています。

吉澤委員：通知表をもらった子どもや保護者にどう受け取ってほしいのかが伝わっていないと思います。コメントが年に1回でも構いませんが、後期にどう頑張らせたいかという先生の思いが表れていないなと思いました。

小室教育長：通知表の件については、まずやってみようということで今年度変更しましたが、直すべきところは修正していくと伝えてあります。校長会に投げかけて、修正できることを考えてもらいます。

山口委員：私は、変わることは非常に良いことだと思います。ただ、私が聞いた話では、保護者が先生になぜこのように変わったのか聞いた際に、先生が答えられなかったそうです。なので、説明不足があったのではないかと思います。校長先生から先生方に意図が伝わっていないのではないかと思います、そこが問題だと感じました。

小室教育長：変更することになった原因や、理由の共通理解が図られていなかったのだと思います。

草間委員：子どもには、何を頑張れば良いかはっきり示した方がよいと思います。きちんと目標を見せて指導した方が人は伸びると思うので、方向性をしっかり見せてあげた方がよいと思います。

塚本委員：簡略化して新しいものを取り入れるのは良い事で素晴らしいと思いますが、昔ながらのやり方も忘れないでほしいです。

吉澤委員：主役は子どもなので、子どもにとってどうかという視点を忘れてしまっただけは困ります。世の中の変化もあるので、学校も変わっていかなければならないと思いますが、いつも子どもを中心に考えてほしいです。

小室教育長：働き方改革で子どもが置き去りになってしまっただけはダメです。校長会に対し、検討するよう伝えたいと思います。貴重なご意見ありがとうございました。

その他、ご意見ありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

以上をもちまして、令和4年第10回筑西市教育委員会定例会を閉会いたします。